

財務諸表に対する注記

平成23年3月31日

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
修繕引当金…会館の特別修繕に備えるため、その見積額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
記念事業積立預金	650,000	0	0	650,000
会館建設積立資産	100,000,000	0	100,000,000	0
修繕引当預金	35,300,000	0	0	35,300,000
特定事業積立資産	0	0	0	0
減価償却引当預金	16,000,000	0	0	16,000,000
小 計	151,950,000	0	100,000,000	51,950,000
合 計	151,950,000	0	100,000,000	51,950,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
小 計	0	-	-	-
特定資産				
記念事業積立預金	650,000	-	(650,000)	-
会館建設積立資産	0	-	-	-
修繕引当預金	35,300,000	-	-	(35,300,000)
減価償却引当預金	16,000,000	-	(16,000,000)	-
小 計	51,950,000	-	(16,650,000)	(35,300,000)
合 計	51,950,000	-	(16,650,000)	(35,300,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	195,709,467	1,304,729	194,404,738
建物附属設備	60,925,811	3,350,662	57,575,149
構築物	3,153,072	175,521	2,977,551
什器備品	7,070,138	1,103,433	5,966,705
合 計	266,858,488	5,934,345	260,924,143